

「見えにくい」 「見えない」ことで お困りの方へ



さつまの輪

このパンフレットは、そのような方が相談できる鹿児島県内の施設や団体を掲載しています。それぞれの案内をお読みになり、お気軽にご連絡ください。

発行：鹿児島ロービジョンフォーラム
kagoshima.lv@gmail.com

共催：鹿児島県眼科医会

後援：日本眼科医会

協力：鹿児島県

ロービジョンケア 実施医療機関

目の病気で「見えない」「見えにくい」状態（ロービジョン）の方に、さまざまな補助具や日常生活の工夫、専門施設をご案内する医療機関です。

- 本や新聞が読みにくい
- まぶしくて見えにくい
- 暗くなると歩きにくい
- 学校や仕事・日常生活で困っていることがある

など、どんな事でもご相談ください。

日本眼科医会ホームページ

<https://www.gankaikai.or.jp/lowvision/kagoshima/>



以下のような方にお渡してください

- ・ 身体障害者手帳の基準に準ずる視力
- ・ 視野がおおよそ半分以下
- ・ まぶしさや夜盲で困っている方
- ・ 学業・仕事・日常生活に不安や不自由がある方

上記以外でも、見えにくさで困っている方

各施設にお電話いただくと、相談に応じて支援が受けられるようになっています。早期の視覚リハビリテーションが始められますよう、将来必要な場合の情報として活用できますように配布いただければ幸いです。

配布元 記入スペース

施設名

医療機関以外もご記入ください

鹿児島県眼科医会

県民の皆様の目の病気の予防と健康に関する正しい情報を発信し、目の病気に関する正しい知識を普及するための事業をおこなっています。

夏に「目の健康講座と無料相談会」、秋に「目の愛護デー関連の活動」を実施しています。

鹿児島市中央町8-1 鹿児島県医師会内
電話 099-254-8121/FAX 099-254-8129
鹿児島県眼科医会



こんな道具や工夫があります

- ① 拡大する 例)ルーペ・拡大読書器
- ② 見やすい配色で生活する
例)黒いお茶碗・歯ブラシ
- ③ まぶしさを防ぐ 例)遮光眼鏡
- ④ 音声を利用する
例)音声時計・体重計・音声パソコン
- ⑤ 安全に外出する 例)同行援護

鹿児島県の福祉政策

県では「鹿児島県障害者計画」に基づき、視覚障害者のための施策を実施しています。

- ①視聴覚障害者情報センターの運営
 - ②身障者用駐車場利用証制度(パーキングサミット制度)
 - ③障害者くらし安心相談窓口～障害者差別に関する相談
 - ④障害者権利擁護センター～障害者虐待に関する相談
- その他、補装具の支給や外出支援(同行援護)などについては、市町村の福祉担当窓口で相談を受け付けています。

【鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課】
鹿児島市鴨池新町10-1
電話 ①② 099-286-2746
③④ 099-286-5110



鹿児島県立鹿児島盲学校 (視覚障害教育支援センター)

県内の見えにくくてお困りの方への支援を行っています。子育て、幼稚園や保育所、小学校・中学校・高等学校での学習・生活等での不安・困りごと等について教育的観点から支援します。乳幼児の親子教室や、保護者交流会等も行っています。成人の方についても、入学相談や情報提供を行っています。

鹿児島市西谷山1-3-3
電話 099-263-6660 (平日 9:00~16:45)



鹿児島県視聴覚障害者 情報センター

録音・点字資料の貸出・製作の他、機関誌「情報センターだより」で各種情報を発信しています。

見えない、見えにくいの方のための各種講座の開催、便利グッズの紹介、日常生活のアドバイス(iPhone等の使い方、料理、移動のしかた等)、相談事業をおこなっています。

鹿児島市小野1-1-1 ハートピアかごしま3F
電話 099-220-5896/FAX 099-229-3001
開館時間 8:30~17:00
休館日:火曜日



鹿児島県網膜色素変性症協会 (JRPSかごしま)

網膜色素変性症の治療法の確立と、患者さん一人一人のQOL(生活の質)の向上をめざして設立された団体です。

定例交流会(偶数月の第1日曜日)は病気や日常生活で困っていること、福祉制度、仕事の悩みなど、何でも話し合える場所です。電話相談は毎日受け付けています。

年に1回、専門の先生の医療講演会、アイフェスタを開催しています。

鹿児島市小野1-1-1 ハートピアかごしま3F
難病支援センターネットワーク内(JRPSかごしま)
南 090-3609-7561
松清 m-matsukiyo@po2.synapse.ne.jp

